

認知症になつても

笑顔で暮らせるまち



加東を目指して

誰でも年齢とともに、もの覚えが悪くなったり、人の名前が思い出せなくなっ

たりします。こうした「もの忘れ」は脳の老化によるものです。しかし、認知症は、

「老化によるもの忘れ」とは異なり、進行すると、徐々に理解する力や判断する力

がなくなり、社会生活や日常生活に支障が出てくるようになります。

認知症を正しく理解し、自分が「認知症」になつても、自分らしい生活が送れる

ように今、考えてみましょう。



《写真撮影(提供)協力》
■愛の家グループホームとうじょう ■社すみれ園デイサービスセンター
■四つ葉さがし南山 ■地域密着型サービスセンターたきの苑

9月21日(火)は「世界アルツハイマーデー」
9月はアルツハイマー月間です

1994年、国際アルツハイマー病協会は、世界保健機関と共同で、毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定めました。

本人や家族への施策が充実されることを目的に、世界中で啓発活動が行われています。

加東市の認知症に関する
事業は何があるの?

簡単にできるもの忘れ
チェックはないかなあ

相談したい場合は、
どこにすればいいの?

認知症の方に対して、
何かできることはないかなあ



もの忘れ相談プログラム

5分で簡単にできる、タッチパネルを使用したもの忘れチェックです。

定期的に自分のもの忘れをチェックすることで、適切な診断、治療を受けるきっかけになります。

まちぐるみ総合健診の会場や加東市役所1階 高齢介護課前に、「もの忘れ相談プログラム」を設置していますので、ぜひお試しください。

★タッチパネルは、地区、自治会への貸出も可能です!!



✓もの忘れ自己チェック

※ご自分でやってみましょう! 家族が行うこともできます。

- 最近もの忘れが多くなった
- 物の名前が出なくなってきた
- 日課をしなくなった
- ささいなことで怒りっぽくなった
- つい最近の出来事を忘れている
- 以前はあった関心や興味が失われた・意欲が無くなった
- 夜中に起き出して何かをしている(昼夜逆転している)
- 置き忘れや、しまい忘れが多くなった
- ボーッとしている時間が多くなった
- 時間や場所の感覚が不確かになってきた

✓の数が多いほど
要注意!!